



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

7月園だより

令和5年6月27日

June 27, 2023

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



共有して生まれる豊かさ

園長 河合 晴美

6月は、幼稚園公開と保育参加に御参加いただきありがとうございました。お寄せいただいた感想から、子どもたちの表情や動き、言葉等から何を楽しんでいるのか、保護者の方々が感じ取り、受け止めていただいたことが分かり、感謝申し上げます。

さて、自然との関わりから子ども達の育ちを見ていく園内研究を始めると、自然が子ども達の元にやってくる日々となりました。

5歳児が見つけた大きな茶色いクモは、登園後、驚きでいっぱいのお出合いとなりました。興味津々でのぞき込む姿から、図鑑を目で追いながら「このクモと同じクモ」を探していく過程は、わくわくした気持ちを持ち共有し、「これだ!」と見つけたときの発見と驚きは、「分かった!」「見つけた!」と言う満足感でいっぱいになりました。そして、何より「大きなクモには毒がある」という子ども達の印象を覆し、ゴキブリさえも食べてくれる「アシダカグモ」という名前であることが分かりました。

4歳児ばら組は、担任も夢中になって幼児と一緒にダンゴムシを探しています。小さなダンゴムシから生まれるさらに小さなダンゴムシを見つけた驚きから、触れながら親しんでいき、少しずつ「もの」とは異なる生き物としての存在として、一緒に生活することを楽しんでいます。カタツムリも加わり、学級の仲間が増えた嬉しさのように、毎日よく見て、育てる楽しさを共有しています。

3歳児りんご組は、歌や踊りを一緒にする中で、声や動きを合わせていく楽しさを感じています。また、「もういいかい」「まあだだよ」と掛け合いながら、どこに隠れているかが分かりやすい「かくれんぼ」を楽しんでいます。声が合わさる心地よさや一緒に動き隠れるという一連の動きの楽しさを共有しています。

担任も含め、子どもたち同士の心に響き、同じ気持ちを持ち共有すること、同じ場面を共有することは、次へと向かう展開が豊かになり、経験が深まります。そこで生まれた言葉は、真に感じた言葉であり、その瞬間に表す笑顔は、実に尊い笑顔です。これら、ここでしか味わえない貴重な機会を積み重ね、子どもたちは大きく成長する日々を過ごしています。



<3歳児のかくれんぼ>



<4歳児 畑でダンゴムシ探し>



<5歳児の大発見>